

(2)
一般
防止
関係

027

REEL No. A-0335

0335

アジア歴史資料センター

外務省文書課
受第 651 號
157.6.

重三
昭著

亞細亞
機密第六一五號

大正十五年六月二十六日

在間島

第一課

綴込名 支

在間島

總領事鈴木要太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

支那軍隊ノ馬車徴發ニ關スル報告

(西子街分館、銅佛寺、噴水河)
分局長報告要旨

近時間島地方支那軍隊ハ頻リニ馬車ノ徴發ヲ為シツツ
アリ當局ハ之ヲ要務ヲ秘シ居レルモ露支國境ニ備フル
モノナルヘシトノ説專ラテリ
諸情報ヲ綜合スルニ概況左ノ如シ

一 徴發ノ事實

- (1) 六月下旬汪清縣知事ハ陸軍側ノ依頼ニヨリ管下各
郷ニ對シ馬車各十輛ヲ徴發シ東支線海林站ニ送
遣スヘキ旨下達シタリ現ニ同九日春萃郷 常務所ニ
於テハ以上ノ命令ニ基キ郷内居住支那住民ヨリハ
百田鮮人側ヨリ三百円計一千一百円ヲ繰出シテ馬車
ヲ雇傭シ之ニ應スルコトニ決シ鮮人住民ニ對シテハ毎
戸ヨリ三十五錢宛六月十三日迄ニ納付スヘキ旨通知
ヲ發シタリト
- (2) 六月二十日延吉縣警察所長ノ命令ニ基キ銅佛寺第
二區分所ニ於テハ馬車五輛ヲ徴發シ巡官ニ之ヲ指
揮マシノ局子街ニ送レリト
- (3) 同下局子街官店ニ滞留シテ出發ノ命ヲ待テ居レル

S 120019

026

S 120019

025

028

車輛ハ二十餘台ニシテ尚續々集マリツツアリト
ニ徴發ニ對スル巷説

支那官邊ヨリ洩レタル所及一部巷間ニ傳ヘラルル所左
ノ如シ

(1)馮玉祥ハ赤露ト聯絡シ蒙古及東支線方面ヨ
リ南下シ侵入セントスルノ形勢アルヲ以テ之ク防備ノ
為メ同方面ニ軍隊輸送ノ為メナルヘシ云々

(2)張作霖ノ命令ニヨリ延吉地方駐屯軍隊約四百名ヲ
海林ニ向ヒ出動セシムル準備ノ為メナルヘシ云々

(3)間島琿春地方駐屯軍隊ニ給與スヘキ夏服受領ノ為
メ車馬ヲ徴發スルモノナリ云々

三、其他

延吉鎮守使ハ六月初旬以來間島琿春地方軍隊巡閱中

ナルカ六月十九日奉天當局ヨリ露支國境地方ノ警防シ
嚴ニスヘキ旨訓電アリシリト

尚本件ノ真相引續キ探查中ナルニ右御參考迄

亦信寫送付先

北京公使 奉天、吉林、哈爾濱各總領事

管内各分館主任 同各署長及分署長

朝鮮總督 咸北知事

軍參謀長 十九師參謀長

S

120019

028

S

120019

027

029

外務省

外務大臣男爵幣原喜重郎 啟

亞細亞

大正十五年六月二十八日

機密第一七〇號

在局子街

綴込名

彦文

副領事近藤信一



大正十五年六月二十八日附機密第二〇〇號寫送付

在間島

鈴木總領事宛

件名

一、支那軍隊ノ馬車徵發ニ関スル件

S

120019

029

030



機密第二〇〇號

大正十五年六月二十八日

在局子街



副領事近 藤 信

在間島

總領事鈴木要太郎 啟

支那軍隊ノ馬車徵發ニ関スル件

最近勞農政府ハ馮玉祥一派ト聯絡ヲ採リ蒙古及東支沿線方面ヨリ張作霖ノ脊後ヲ脅カサントシ事態切迫シツ、アルニ對シ之レカ防備ノ為メ寧安

縣方面へ延吉地方駐屯軍隊約五百名ヲ出動セシムル為メ之レカ輸送用支那馬車ヲ和汪、延、琿各縣ヨリ徵發シツ、アリトノ風説專ラナルヲ以テ偵査中ナルカ途説紛々真相判明セサルモ流説ノ出所ニ付テハ延琿地方駐屯兵、夏服其他軍需品受領ノ為メ六月四日在局子街第十三旅副官少校楊林春カ從兵一名ヲ携帶シ朝鮮經由吉林ニ赴ケル事實アリテ吉林ニ於ケル當地方面へノ配給品ノ手配ヲ了シタルヲ以テ之レカ輸送ノ為メ當地方ヨリ凡ソ百臺ノ馬車ヲ寧安縣海林ニ派遣セムカ為メ各縣ヨリ馬車ノ徵發ヲ行ヒツ、アリタルモノニシテ之レカ馬車輸送保護ノ為メ二個排ノ兵員ト共ニ已



120019

031



120019

030

031

ニ海林ニ向ケ當地ヲ出發セリ流説ノ出所ハ右ノ事
實ニ徴シ畧ホ首肯セラレモ念ノ為メ小官本日延
吉鎮守使公署ニ參謀長吳元敏ヲ訪問他ノ用談
ニ交ヘ本件ニ付夫レトナク亂ス處アリタルトコロ馬車
徵發ノ理由ハ全ク前陳ノ通軍需品輸送ノ為メニシ
テ右軍需品ハ六月三十日吉林ヨリ鐵路長春ヲ迂迴
シ海林ニ輸送シ同地ニ於テ當地ヨリ派遣ノ馬車ニ積
換ヘ運搬シ来ル手筈ニシテ國境派兵云々ハ其筋ヨ
リ何等ノ命ニ接セストナシ然レモ非認レ萬一
國境ニ事端發生スルコトアリトスルモ當地方ヨリ派
兵スルコトハ萬無カルヘシト全然之レヲ非認シ居
レリ尚ホ露境派兵ニ付テハ今後引續キ偵査ノ

答

右御參考マテ申進ス

本信寫送付先

外務大臣

在支公使

奉天、吉林、哈爾濱各總領事

琿春、頭道溝、百草溝各分館主任

朝鮮總督、咸鏡北道知事

S

120019

033

S

120019

032

032

亞細亞

機密第二一六號

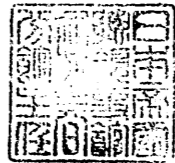
大正十五年六月二十九日

在暹春

分館主任 田中

作

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿



馮玉祥ノ行動並國境増兵計劃ニ關シ報告ノ件

國民軍ノ總將馮玉祥ガ曩ニ敗兵ヲ率ヒテ入露總司令部ヲ設置シ同國政府ヨリノ武器、彈藥、軍隊鐵道ノ供給利用等ノ背援及外蒙トノ提携ニ依リ東三省ヲ侵襲シ一方在露鮮人暴力團ヲ買收シテ三省要路大官ノ暗殺、各機關ノ破壞ヲ敢行スベク暗中飛躍シツツアルヤノ情報昨今頻リニ露領ヨリ齎サレツツアリ而シテ右同様情報ハ當地支那側

在間島日本總領事館暹春分館

外務省文書課
改第 227 號
157.8

明
重

田中
雲文

033

034

120019

S

034

035

120019

S

ニモ達シ居ルモノノ如キ處更ニ馮ノ行動ニ關シ當地朝鮮總督府派遣員ノ在露支那側探報者ヨリ當地官憲ニ達シタル報告トシテ本月二十八日入手セル情報左ノ如シ
露都滯在中ノ馮玉祥ハ馮玉福ヲ使者トシ部下十數名ト共ニ六月中旬ハバロスク極東政府ニ赴カシメ劉東(東三省討伐ノ意)司令部ヲ組織シ馮玉福ヲ總司令ニ支那匪賊首領崔德齡ヲ副司令ニ任ジ其部下匪賊ヲ以テ敢死隊一團(約千五百名)ヲ編成シテ露支國境重要地帯ニ分居時機ヲ狙ヒ所要武器彈藥ハ同政府ヨリ無條件供給ヲ受クルコトニ密約成立シタルガ若シ愈々該國組織ニ當リ相當條件ヲ以テ募員スルトセンカ西比利亞一帶ニ散在セル露支鮮ノ不穩分子ハ直ニ蝟集スベク其ノ行動ハ注意ヲ要ス云々

在間島日本總領事館暹春分館

尙東三省官憲ハ馮ノ行動ニ關シ深甚ノ注意ヲ拂フト共ニ國境軍隊ニ
對シ嚴重警戒方類々ト訓令シ來ルモノノ如ク最近當地方ヲ巡視セル
延璉鎮守使ノ任務モ又右ニ關聯シ此際國境増兵ヲ實行スルモノト見
ラレツツアリ

右報告ス

本信寫送付先 在支那公使

問島、奉天、吉林、哈爾濱、天津總領事

局子街、頭道溝、百草溝分館主任

在問島日本總領事館彈春分館

S

120019

036

035

五二

機密第六三四號

大正十五年七月一日

在間島

總領事鈴木要太郎



第一課甲

記録件名

綴込名 虎文

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

支那側ノ國民軍ノ行動警戒ニ関スル報告

外務省文書課
改第 673 號
157.13

(百草溝分館銅佛寺分署長報告要旨)

近時支那側ハ國民軍ノ行動ニ関シ多大ノ注意ヲ拂ヒ居レ
ルカ如ク現ニ左記延吉縣警察所長ノ訓令ノ内容ニ依リ
之ヲ窺フニ足ルヘク又六月二十六日延吉鎮守使ハ汪清縣
百草溝ニ馮玉祥ノ密使周瑞岐(當三十五平)ノ潜伏マルヲ

探知シ同地備補營ニ電命シテ同日之ヲ逮捕シ通信文其
他ヲ押収シタル事實アリ

左記

延吉縣警察所訓令第××條

上將軍ノ訓令ニ曰ク現ニ交民巷ニ於ケル謀者ノ秘密報告
ニ據レハ同地ニ在ル馮軍ノ部下宗葉ナル者ノ語ル處ニ
據レハ現ニ赤軍團ハ四方ニ敵ヲ受ケツツ能ク之ニ抗シ
馮軍ノ一隊ハ相嗣イテ章哈ノ各地ヲ撤退シ兩道ヲ西
伯利ニ藉リ鐵道ニ由リテ東三省ヲ襲ヒ兵ヲ進メテ各
省城ヲ攻陥セント計畫シアリ此ノ計畫ハ露國當局ノ同
意ヲ得タルモノニシテ所要ノ糧食兵器等ノ供給ヲ受ケ
居レルノミナラス萬一ノ場合後軍ヲモ出タスヘシトノコト
ナリト此ノ計畫ハ果シテ事實ナリマ否判明セザルニ

S 120019 038

S 120019 037

036

若シ此ノ計畫ニシテ進行シ居レル事實アリトモハ東三省ニ関スル重大事件ナルヲ以テ吉林、黑龍兩省ニ轉飭シ兩省沿道ノ各駐屯軍ニ對シ嚴重警戒ヲ命セララルト共ニ場合ニ由リテハ更ラニ増兵ノ必要アルヘシ云々

想フニ馮ノ行動ハ蠶測スヘカラサルモノアリ而シテ國家ニ禍ムルコト大ナルモノアルヲ以テ以上ノ情報ハ根據アルモノト認メララルニ付當該(吉林)督辦ハ管下各軍警戒一體ニ嚴重轉飭シテ複査警戒ニ努ムルト共ニ適時狀況報告方取計フヘシ

以上ノ通り二十二日上將軍代電ニテ督辦ニ訓達アリ更ニ此ノ訓達ニ基キ二十九日延吉道尹公署ニ電達ノ次第ニアリ各警察所ニ於テハ管下一般ニ傳達シ嚴重警戒スヘシトノ旨ヲ奉シテ之ヲ所屬ニ轉飭ス嚴ニ防範ヲ加ヘテ後患ヲ絶ツヘシ切ニ之ヲ令ス

中華民國十五年六月二十三日

延吉縣警察署長 湯武涉

存信寫送付先

北京公使 奉天吉林哈爾濱各總領事 滿洲里領事

管内各分館主任 同署長及分署長

朝鮮總督 咸北知事 羅南憲兵隊長

037

039

120019

S

040

120019

S

電信寫

三八二一 暗 哈爾濱（長春中繼廿三日後發）
本省 三月廿四日前着

幣原外務大臣

天羽總領事

第六一號
往電第六〇號ニ關シ

「ドウガレフスキイ」大使ハ十八日本官ヲ來訪震災ノ見舞ヲ述ヘ雜
談ノ後辭去セラレ同夜勞農總領事及 露國側幹部等ト共ニ本官ノ
非公式晚餐會ニ臨マレ極メテ打解ケテ日露親善ノ爲ニ努力スヘキ旨
ノ挨拶ヲナシタルカ同席上ニ於テ「ラシエーウイツチ」「エムシヤ
ーノフ」等カ立チテ日露ノ親善及東支滿鐵協調ノ必要ヲ説キ食後「
エム」ハ本官トノ會談中ニ現狀ニ非常ナル變化ナクハ滿鐵運賃協議

ハ誓テ今年夏頃迄ニハ繼メ得ヘシト言明セリ。昨年四月所謂「コツプ」
大使ノ演說新聞電報事件以來當地勞農幹部ハ勿論「コツプ」「カラ
ハン」「メリニコフ」「ヤンソン」「セレブリヤコフ」等ハ執レモ
本邦通信新聞記者トノ會見ヲ絶對ニ避ケ居タルモ「ド」大使ハ井ツ
滿洲里ニテ會見談ヲ發表シ當地滞在中モ自由ニ新聞記者ヲ引見シ尙
二十一日日露協會學校卒業式ニ臨ミテ祝辭ヲ述ヘ在留本邦人ニモ隔
意ナキ接見ヲナシタル爲在留本邦人間ニ非常ナル好感ヲ殘シタルモ
ノノ如シ
在露大使、在支公使、奉天へ暗送セリ

S 120019 042 S 120019 041 038 ±

大臣
次官
、亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

電信課長

支那收付差表

(赤梓紙)

三九二一 暗 滿洲里 本省 三月廿五日前着 亞、電

幣原外務大臣 第九號 田中領事

貴電第四號ニ關シ往電第六號再電ス
當地軍隊及警察ハ十七日夜以來市内ニ於テ物々シキ警戒ニ當リ軍
司令ハ本日(十八日)午前十時支那各機關長ヲ召集シ緊急會議ヲ
開ク處アリシカ同會議ニ出席セル知事ノ當館清水書記生ニ内話セ
ル處ニ依レハ東支鐵道従業員カ全線ニ亘リ同盟罷業ヲ行フヘシト
ノ情報ニ接シタル爲之カ對策ヲ議シ取敢ス軍隊及警察ヲシテ嚴重
警戒セシメ怪シキ露人ヲ監視スルコトトセル次第ナリトノ事ナリ

外務省

S 120019 043 039

右支那側ノ接受セル情報ノ確實性ニ就テハ不明ナルモ共產黨ノ宣
傳員入込メリトノ噂アル今日ナレハ萬一ニ對シ此ノ措置ニ出テタ
ルモノト思考セララル
哈爾濱へ轉電セリ

S 120019 044 040

大臣 次官 幣原 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人文 社會 文書 計

電信課長

(赤梓紙)

昭和

三九一 暗

滿洲里 (奉天中繼廿四日後發) 本省 三月廿五日前着

幣原外務大臣

田中領事

第一〇號

往電第六號ニ關シ

支那側ノ市内警戒ハ依然繼續シ居ルモ今迄何等事件ノ發生スルナク又拘引セラルルモノナキニ付三月二十二日支那軍司令ヲ往訪ノ際警戒ノ理由ヲ尋ネタル處同司令ハ右措置ハ「ソビエツト」側東支従業員ノ同盟罷業陰謀ニ備フル爲ニシテ其陰謀ハ確實ニシテ而モ危険性ヲ帶フルモノニシテ第一「ソビエツト」側ハ東支ノ實權ヲ握ラントシ第二ニ南方時局ニ對スル牽制策トシテ當地方ヲ攪

612.5055-1
陸地

外務省

亂セントスル動機ニ出テタルモノト思考スル旨答ヘタルカ右ハ當地軍隊一部ニ對シ南方出兵命令アリタル爲メ特ニ邊境ノ不安ナリトノ理由ヲ作り之ヲ阻止セシメムトスル芝居ニ非スヤト思ハルル情報アルニ付注意取調中
哈爾濱へ轉電セリ

S 120019

046

042

S 120019

045

041

亞細亞局

機密第四六九號

昭和二年七月九日

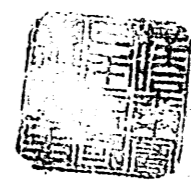
昭和貳年七月貳拾日接受

在哈爾濱

總領事 天羽 英二

外務大臣男爵 田中 義一 殿

支那官憲ノ職業組合事務所閉鎖事件
其他ニ關スル件



當地支那官憲カ共產主義ノ宣傳及赤系分子ノ運動ニ對シ極力警戒ニ努
メ居ル次第ハ屢次報告ノ通りナル處本月七日當地警察官憲ハ突然職業
組合事務所ニ臨檢シ組合ノ事務執行ヲ禁止シタルヲ以テ各方面ニ「セ
ンセーション」ヲ與ヘシカ翌八日右禁止ハ解除セラレ組合ハ從來通り

在哈爾濱日本帝國總領事館

東支鐵道

支那政府ノ警察官憲ハ赤系分子ノ宣傳及赤系分子ノ運動ニ對シ極力警戒ニ努
メ居ル次第ハ屢次報告ノ通りナル處本月七日當地警察官憲ハ突然職業
組合事務所ニ臨檢シ組合ノ事務執行ヲ禁止シタルヲ以テ各方面ニ「セ
ンセーション」ヲ與ヘシカ翌八日右禁止ハ解除セラレ組合ハ從來通り

S 120019 047 043

(已覽用紙)

事務ヲ開始スルニ至レリ右禁止ノ事情ヲ探查スルニ該組合ハ客年東支
鐵道南部線運行阻止事件以來閉鎖ヲ命セラレタル儘未タ公ケニ承認セ
ラレ居ラサルカ故七月七日委員選出ノ爲會合ヲ催シタキ趣ヲ以テ集會
許可方申請ヲナシ其許可ヲ得ルコトニヨリテ當局ヲシテ組合ヲ承認セ
シメントノ魂膽ニ出テタルモノナルカ當局ニ於テ觀破シタル爲ナリト
觀測スルモノアリ或ハ右閉鎖ハ中央ヨリノ命令ニ出テタルモノナルカ
閉鎖ノ結果證據不十分ナルコト判明シ翌日閉鎖命令解除セラレタリト
爲シ或ハ又金警察管理處長ノ收賂說等モ傳ハリ種々ノ風說ヲ生ムニ至
レリ又當地警察官憲ハ最近西比利亞線ニヨリ多數ノ宣傳材料到來スル
由ノ情報ニ接シタル趣ニテ新ニ二名ノ檢閱官ヲ任命シ露國方面ヨリ來
着スル郵便物ノ檢閱ヲナサシメツツアル處過日到着セル西比利亞鐵道

在哈爾濱日本帝國總領事館

S 120019 048 044

(已覽用紙)

ニヨリ多數ノ宣傳用圖書雜誌類輸送シ來レルヲ發見シ之ヲ押收シタリ
ト云フ

右支那側ノ勞農側ノ勞農取締振ノ近例御參考迄報告ス

本信寫送附先

在露大使 在支公使 在奉天總領事

在哈爾濱日本帝國總領事館

S

120019

049

045

5

電信寫



第一八三號

田中外務大臣

一〇五二四

暗

哈爾濱（長春經由）後發
本省 七月廿九日後着

歐、亞

天羽總領事

七月二十七日ノ白系機關紙「ルスコエ、スロウチ」ハ天津ニテ
發行スル張宗昌ノ機關紙「ナーシ、ブーテ」カ張大元帥ハ北京勞
農押收文書ニ基キ近ク露國ト談判シ東支露國々籍従業員ヲ支那領
土ヨリ立退カスヘシト報道シタルカ目下東支從業員二萬二千人中
露國々籍者壹萬五千其ノ他ニ露國々籍者約壹萬アリ非常ナル恐慌
ヲ起スヘシトノ評論的記事ヲ掲ケタリ今迄ノ處大ナル反響ヲ見サ
ルモノナリシ、ブーテ」カ張宗昌補助ノ下ニ發行セラレ居リ張宗

昌ノ意嚮ヲ反映スル事實ニ鑑ミ注意ヲ惹起セリ
北京へ轉電セリ奉天へ暗送セリ

記録付
文部省
七月廿九日
天羽總領事
ハル濱

S

120019

051

S

120019

050

046

6

大臣 次官 電信課長
亞細亞 通條 情化 人文 文會
米商 約報 化事 書計

24
69

分 120019

昭和2 一三三八四 平 福岡 七日後發 亞
本省 十月八日前着 高 岩

出淵外務次官

昨日「ガレン」夫妻ト同船シテ米々國民黨各領袖ハ新軍閥トナツ
タ爲國民運動モ失敗ニ歸ル故歸國スル馮玉祥ハ狡猾狐ノ如キ故
信スルモノナシ「クリスチヤンゼネラル」ナト嘘ノ皮ナリト罵レ
リ安心アレ長崎ニテノ待遇チ「ガレン」夫人憤慨セリ彼等ハコソ
コソ赤化宣傳ナトスル小人ニ非ス日本ノ風光ヲ樂シマセ日本着物
ヲ買ハセタトテ何等危険ナシト思フ今少シ紳士扱サレル様内務省
ヘ御注意アラムコトヲ望ム

那政府ノ為ニ...

外務省

S 120019 052 047



並細亞局

機密第七一〇號

昭和二年十一月四日

第一書

昭和元年十月拾貳日接受

記

在哈爾濱

總領事 八木 元八



歐米局第一課



外務大臣男爵 田中 義一 殿

勞農革命紀念日ニ對スル支那側取締ニ
關スル件

來ル十一月七日露西亞勞農革命十週年紀念日當日ハ當地共產黨支部及職
業同盟會中心トナリ盛大ナル紀念祝祭ヲ催シ演說會、示威運動等ヲ爲ス
ノ意嚮ナリシモ支那官憲ハ赤化宣傳防壓ト治安維持ノ爲紀念日ニ於ケル
祝賀方ニ關シ豫メ當地勞農總領事館ト協議ヲ遂ケ開催場所ヲ哈爾濱總工

在哈爾濱日本帝國總領事館

120019



661d.103
671.407

廠、哈爾濱東支鐵道俱樂部、舊哈爾濱俱樂部及東支沿線各驛鐵道俱樂部
ニ限定シ開催時刻ヲ十一月六日ハ午後七時ヨリ夜十二時迄同七日ハ
午後八時半ヨリ同十二時迄トシ其間ニ於テ「ソヴイエト」政權十年間ノ
業績ニ關スル報者演說、祝典舉行及餘興トシテ演劇ヲ催フスコトヲ得ル
モ宣傳ニ且ルカ如キ演說其他ノ餘興ヲ爲スコトヲ得ス又會場ニハ勞農國
旗ノミヲ掲クルヲ許サス必ス支那國旗ヲモ掲揚スルヲ要スル旨等ヲ定メ
尙數日前各警察署長會議ヲ開催シタル際ニハ赤化防止ニ關スル事項竝ニ
本紀念日ニ於ケル取締リニ關スル事項等ヲ指示シ又萬一ニ備フル爲警察
官ノ増援竝事故發生ノ場合ニ於ケル臨機ノ處置振り等ニ關シ打合テ遂ケ
警戒取締リニ關シ遺漏ナキヲ期シ居レリ他方白系露人ニ於テハ近時哈府
方面ニ於テ日派軍隊ノ秘密組織計畫具体化シ或ハ上海北京天津等ニ散在

在哈爾濱日本帝國總領事館

120019



054

049

セル白黨カ天津ニ在住スル「ブリユール」少將ノ下ニ反勞農運動ヲ決
行スル等ノ風説傳ハリ居ルニ刺戟セラレ北支方面殊ニ奉天ノ白黨露人ト
連絡シ七日當日反勞農運動ヲ試ミ白黨ノ結束ヲ固メント計畫シ居ルヤノ
噂アリ白系青年ハ支那側ノ許可ヲ得七日正午十二時ヨリ波蘭人俱樂部ニ
於テ反勞農演說會ヲ開催シ又同日午后五時ヨリハ當地「ニコライスキ」
「寺院ニ於テ「ニコライ」二世其他革命ノ爲斃レタル舊帝政派人物ノ大
追悼會ヲ催ス趣ニシテ支那官憲ハ赤白青年等衝突等事變ノ勃發ヲ豫戒セ
ンカ爲屋外集會「團體行列」宣傳文散布等ヲ禁止シ警戒ニ勞メ居レリ
右御參考迄報告ス

本信寫送附先 在露大使 在支公使

在奉天、長春、滿洲里各總領事領事

在哈爾濱日本帝國總領事館

S

120019

055

050